

## 2018 年度課題研究会活動成果報告書

課題研究会名：患者プロフィール情報基盤研究会

設置期間：2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

代表幹事の氏名・所属：近藤博史・鳥取大学医学部附属病院医療情報部

(副代表幹事) 栗原幸男・高知大学医学部看護学科

幹事の氏名・所属：石川 澄・社会医療法人社団沼南会沼隈病院

石田 博・山口大学大学院医学系研究科

木村映善・国立保健医療科学院

合地 明・井原市立井原市民病院

島井健一郎・千葉大学医学部附属病院企画情報部

田中武志・広島大学病院

中島典明・国立がん研究センター

大原通宏・日本電気株式会社

高井康平・日本アイ・ビー・エム株式会社

清水 健・富士通株式会社

活動成果の概要：

### 1. コアデータ項目についての検討

前年度の取組において、患者プロフィール情報 (PPI: Patient Profile Information) を各医療機関で収集データ項目と設定している割合が高い項目をコアデータ項目群とし、それ以外を個別性の高い詳細データ項目群と分けて、検討する方針を立てた。そこで、本年度はまずコアデータ項目群をどのように設定すべきかについて検討を行った。

本研究会が作成した PPI の暫定標準データ項目セットについての約 60 医療機関での整備率調査に基づいて、単純に整備率が高い項目をコアデータ項目群と設定する場合、基準とする整備率についての基本原理が見出せなかった。そこで、別の観点から検討することになった。検討の結果、臨床意思決定支援 (CDS: Clinical Decision Support) に必要となる患者プロフィール情報と言う観点からコアデータ項目群を設定できないか検討することとした。

CDS システムについては、支援機能のシステム間でのシームレスな利用を目指して、標準化が進められており、その中で患者情報についてもモデル化されていて、データ種別が示されていた。列挙されているデータ種別は PPI でのデータ区分とかなり重な

るものであるが、具体的なデータ項目までは示されていないため、CDS の標準枠組みから PPI のコアデータ項目群を設定することは容易でないことが分かった。しかし、患者情報モデルは FHIR のリソースとの対応が良く、PPI を FHIR の枠組みに載せれば、標準化された CDS システムが利用できることを意味しており、PPI の標準化を進める意義を高めることには寄与した。

コアデータ項目群と言う設定の仕方が良いのか、CDS における患者情報モデルのようにデータ種別毎に標準項目を設定するのが良いのか引き続き検討することとした。

## 2. 患者プロフィール情報の標準化啓発の取組

福岡開催の医療情報学連合大会でワークショップ「臨床意思決定支援の要としての患者プロフィール情報 (PPI) を考える」を企画した (2018 年 11 月 23 日実施)。この企画では、これまでの課題研究会の PPI に対する捉え方としては、医療者が患者に医療を提供する際に把握しておくべき患者情報との位置づけであり、医療者に直接提供すべき医療情報と捉えていたが、病院情報システムの中で医療者を支援するために CDS システムが利用できる医療情報と位置づけることができるかについて議論した。

本ワークショップでは課題研究会のメンバーが演者となり、日常診療および地域医療連携システムで CDS システムを活用する際の入力情報として PPI を利用するために必要な要件と、CDS の患者情報モデルが FHIR リソースとの対応性が良く、PPI を FHIR の枠組みで表現できれば、PPI を CDS システムのデータリソースとして利用できる可能性があることを報告し、参加者と意見交換を行った。

活動成果の発表：

[雑誌論文] 計 ( 1 ) 件

①栗原幸男, 石田 博, 近藤博史, 木村映善: 臨床意思決定支援の要としての患者プロフィール情報 (PPI) を考える, 医療情報学, 38 (Supplement): 264-267, 2018.

[学会発表] 計 ( 5 ) 件

①Yukio Kurihara, Haku Ishida, Eizen Kimura, Hiroshi Kondoh: An Approach to Clinical Decision Support by Establishing Abundant and Reliable Patient Profile Information, Decision Support Systems and Education - Help and Support in Healthcare, Zagreb, 2018

②石田 博: 臨床意思決定支援システムのアルゴリズム対象としてのプロフィール情報の範囲と課題, 第 38 回医療情報学連合大会, 福岡, 2018.

③近藤博史: 地域医療連携システムから考える患者プロフィールの標準化と臨床意思決定支援, 第 38 回医療情報学連合大会, 福岡, 2018.

④木村映善: CDS の標準化における PPI の扱いについて, 第 38 回医療情報学連合大会, 福岡, 2018.

⑤栗原幸男: 臨床意思決定支援に適合した PPI のデータモデルの検討, 第 38 回医療情報学連合大会, 福岡, 2018.